

て竜の大なる事をしり、華の大なるを見て池のふかきことはしんぬべし。此等の大菩薩の来る国、又誰と申十仏にあいたてまつり、いかなる大法をだいか習しゅう修しゆし給らんと疑わし。あまりの不審さに音こゑをいだすべくもなければ、仏力にやありけん、弥勒菩薩疑い二云、二無量千万億、大衆の諸の菩薩は、昔より未だ曾て見ざる所なり。是の諸の大威徳、精進の菩薩衆は、誰か其の為に法を説き、教化して成就せる。誰に従つて初めて発心し、何れの仏法を称揚せる○世尊我昔より来、未だ曾て是の事を見ず。願わくは其の所従の、国土の名号を説きたまえ。我常に諸国に遊べども、未だ曾て是の事を見ず。我此の衆の中に於て、乃し一人をも識らず。忽然に地より出でたり。願わくは其の因縁を説きたまえ一等云云。天台云、一寂場より已降、今座より已往、十方の居士、来会絶えず、限るべからずと雖も、我補処の智力を以て悉く見、悉く知る。而れども此の衆に於て一人をも識らず。然るに我十方に遊戯して諸仏に觀奉し、大衆に快く識知せらる二等云云。妙樂云、二智人ちは起ききを知り、蛇じやは自ら蛇を識しる一等云云。經釈の心分明なり。詮ずるところは、初成道よりこのかた、此土・十方にて此等の菩薩を見たてまつらず、きかざると申十なり。

仏此の疑答に二云、二阿逸多○汝等昔より未だ見ざる所の者は、我是の娑婆世界に於て阿耨多羅三藐三菩提を得已つて、是の諸の菩薩を教化示導し、其の心を調伏して道の意をおこ発はつさしめたり一等。又云、一我伽耶城菩提樹下に於て坐して、最正覚を成ずることを得て、無上の法輪を転じ、爾して乃ち之を教化して、初めて道心を発さしむ。今皆不退に住せり。乃至、我久遠より来、是等の衆を教化せり一